



はくさんくん

保護者のみなさまへ

～交通安全は家庭から～



お子さまにとって、最も身近な危険は交通事故です。
交通事故からお子さまを守るためには、ご家庭でお子さまと一緒に交通安全について考えていただくことが何よりも大切です。



子どもの特性を知って交通事故防止

☆☆ 子どもは大人の「小型版」ではありません ☆☆



●大人と同じようには見えていない
子どもは背が低いと、目線が低く見える範囲も大人の約6割です。

●車の速度の判断・把握はあてずっぽう
特に遠ざかる車より向かってくる車の速さの判断が苦手とされています。

●「ことばの注意」だけでは身につかない
実際の道路で「何が」「どう」危険なのかを具体的に伝えることが大切です。

●夢中になるとまわりが見えない
遊びやおしゃべりなど、子どもはひとつのことに注意が向いていると、道路の安全の確認を忘れてしまいます。



●大人のまねをする
特に信頼する保護者の行動のまねをします。

子どもの危険な行動の代表は…

道路への『飛び出し』



◎『飛び出し』の危険さを伝えてください！

交差点や道路を渡るときなどは

- ・一度 **止まる**
- ・まわりをよく **見る**
- ・安全に進めるまで **待つ**



駐車場内での交通事故にも要注意！

子どもが1人になる状況を作らないよう配慮を！

保護者のみなさんが、安全な行動を実践し、お子様のお手本となってください。



交通安全ちょっといい話をみんなで共有しませんか

●県警ウェブサイト投稿フォーム

投稿する際は、冒頭に【交通安全ほっとストーリー】と記載してね。投稿は県警ウェブサイト「石川県警への意見・要望・苦情」フォームへ

<https://www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/inquiry/inquiry09/>



●石川県警察

交通安全情報
ツイッターアカウント

https://twitter.com/IP_koutuu_anzen





～子どもたちの安全を守りましょう～

子どもを犯罪から守るには、「いかのおすし」を

・繰り返し ・具体的に

子どもに伝え、親子で一緒に確認することが大切です。



こんなときどうする…



学校から帰るとき…

「お母さんがケガをしたので
病院に連れて行ってあげるよ。」

その他にも…

「こっちにきてゲームを一緒にやらない？」

「あっちに秘密基地があるから行ってみない？」

「道に迷ったんだけど、案内してくれない？」



公園で遊んでいるとき…

「動画の撮影をするから
一緒に来てくれない？」



遊びから帰るとき…

「犬を探しているんだけど
一緒に探してくれないかな？」

など…色々な言葉で声をかけてきます。

～お願い～

子どもへの声かけなど、
不審者情報を見聞きした
ときは速やかに警察など
へ通報をお願い
します。



お子さまと一緒に

「こんなときはどうする？」と
シミュレーションをしてみましょう。



家庭で
「防犯の話」を
しましょう！

- ・外で1人にならない
- ・110番の家や交番の
場所をチェック

など

連れ去り防ぐ合い言葉
「いかのおすし」

親子で一緒に
覚えてください



おおごえを出す



いかない



の 乗らない



すぐにげる



知らせる

子どもたちの周りには多くの危険が潜んでいます。

子どもたちを事件や事故から守るためには地域の大人による見守りに加え、子どもたち自身が「自分の身を自分で守る」方法を知り、身につけていくことが必要です。

日々の生活の中で「なぜ危険なのか」を保護者から子どもたちへ具体的に繰り返し伝えることで、子どもたちを危険から守りましょう。

家庭でのお話の際、このチラシを活用していただけると幸いです。



白山警察署・白山市役所市民生活部地域安全課・野々市市役所総務部総務課